

キウイフルーツ特報 No.2

R2.5.15

J A 中 野 市 園 芸 課
JA 中野市キウイフルーツ研究会

各品目、生育は4月の低温により平年並みの状況です。キウイフルーツの生育も平年並みの予想です。 開花予想 南部：5/31 北部：6/2

開花期の防除は花腐細菌病、かいよう病対策として重要な防除になりますので、遅れないように散布してください。また、高品質生産に向け、人工授粉は適期に実施しましょう。

○ 開葯機を日野集荷所に設置いたしました。ご利用ください。

病害虫防除

防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡して下さい

①開花直前（5月下旬：5月20～30日）の散布

①開花直前（5月下旬～5月20～30日）の散布

		散布日	5月	日
		散布量	ℓ	
散 布 薬 剤	水	100ℓ当り		
	展着剤	10mℓ		
	アグレプト水和剤	100g（90日前、4回）		
	【劇】スプラサイド水和剤	66g（60日前、3回）		
対象病害虫	花腐細菌病、かいよう病、クワシロカイガラムシ			
散 布 量	10a当り 350ℓ ＊若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する			
注 意 事 項	① 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないよう注意して下さい			
	② アグレプト水和剤に代えて、アグリマイシン-100の1000倍（落花期まで、3回）でもよい。			
	③ スプラサイド水和剤は劇物登録剤です。 購入の際には、印鑑をお持ちください。			

次回配布予定：6/17

内 容 ：7月上旬散布

● 次頁もご覧ください。【今後の管理・講習会について】

②今後の管理について

*摘 蕾・・・新梢の基部や先端部の花蕾が小さいもの、果梗が枝分かれした側花、形が極端に変形している花を摘みましょう。

*人工授粉・・・綿棒または授粉器を使用して行ってください。（午前中に実施）

*予備摘果・・・落花後 10～15 日頃より始め、変形果、小玉果を除く。

葉6～7枚に1果を目安として摘果しましょう。

*6月～7月末で果実の大きさが決まります。土壌の乾燥や摘果の遅れ等に注意ください。

研究会員 各位

J A 中野市キウイフルーツ研究会
J A 中 野 市 園 芸 課

【重要】講習会の開催中止のお知らせ

毎日のお仕事お疲れ様です。

講習会は新型コロナ感染拡大防止のため、当面の間、開催を中止いたします。ご不便をおかけしますが、時期の栽培管理資料等は各特報の中で記載する予定です。尚、詳しくは担当技術員までお問い合わせ下さい。

【連絡先・問合先】

J A 中野市 営農センター 園芸課

担 当：堀内

T E L：0269-23-3933

携 帯：090-1867-2512